

食味向上のための水稻栽培

	移植	有効分げつ 終止期	最高分げつ期	幼穂形成始期	出穂期	登熟期	成熟期
水管理	深水 (除草剤処理)	間断灌水	中干し	間断灌水	深水湛水	間断灌水 (湿润)	落水
作業管理	土づくり 育苗 基肥施用 田植え 除草剤散布	中干し		穂肥施用	出穂期防除	仕上げ防除	収穫 乾燥調製
良食味米生産のポイント	<p>○ 積極的な土づくりを行う(腐植・ケイ酸等の投入)。</p> <p>○ 健苗育成(薄播きの徹底)。</p> <p>○ 基肥適量施用(初期生育を旺盛にせず、過繁茂防止)。</p> <p>○ 極端な疎植は行わない(45株/坪まで)。 茎数制限 ⇒ 小粒化防止</p> <p>○ 目標分げつを制限し、無駄な籾をつけさせない。 籾数制限 ⇒ 粒張りのよいコメ生産が重要! 食味向上のためには、 過剰な籾を着けさせず</p> <p>○ 目標茎数を確保したら中干し開始。</p> <p>品質・食味低下しやすくなる。 早い施用は、倒伏しやすくなり、弱勢顕果が多く (幼穂2mm。倒伏しやすい品種は施用を遅らせる。 ○ 穂肥施用は幼穂を確認して行う。</p> <p>(過剰な削減・過剰施用は厳禁)。 ○ 施用量は生育(葉色等)を把握して決定。</p> <p>○ 適期防除は不可欠。 玄米タンパク抑制・高温障害回避 ⇒ 粒厚向上</p> <p>○ 登熟期間は間断灌水を徹底し、決して乾かしすぎない。 ⇒ 粒厚向上</p> <p>○ 収穫前落水は、できるだけ遅くする(収穫5日前落水)。 ⇒ 粒厚向上</p> <p>○ 収穫開始は籾の状況で判断する。 粒厚向上</p> <p>○ 調製は1.85mm以上で丁寧に行う。 青未熟粒混入防止 (最長稈黄変籾率85%から収穫開始)</p>						